

テアトル9ニュース

お芝居大好き！九条の会
2014年12月3日 第60号

お芝居大好き！九条の会～テアトル9 って何??

2004年、井上ひさし、大江健三郎等9名の著名人が日本国憲法九条を守る「九条の会」を結成。その呼びかけに応え、演劇鑑賞会の会員有志で2005年「お芝居大好き！九条の会～テアトル9」を作りました。

月1回世話人会を持ち、ニュースを発行しています。



私たち神戸演劇鑑賞会も、「憲法9条を死文化し、戦争できる国を目指す『解釈改憲』に断固反対します！」全国、近畿演鑑連アピール（10月例会場配布）に賛同します。

皆さんがこれを読まれる頃、日本の政権はどうなっているでしょう？結果によっては「民意」を盾に、加速度的に「米軍と一緒に戦争する国」にひた走る怖ろしさがあります。

アピール文中にもある通り、私たちの演劇鑑賞運動は「戦前、戦中、自由と平和、民主主義を守るため、激しい弾圧に抗して戦った演劇人の思いを引き継いで設立」され、「だからこそ、平和の大切さを未来に伝えていくことが大きな使命」と考えています。ですので、集団的自衛権を容認する閣議決定の強行は、憲法9条を破壊し、戦後日本の在り方を根底から覆す歴史的暴挙として、黙って見過ごすわけにはいきません。

神戸演劇鑑賞会が六十周年を迎えられたのも、芝居を観続けられる平和な社会があったからこそ。

この平和を守り、未来につなげる責任が、現在を生きる私たちにはあります。

(神戸演劇鑑賞会事務局長 大谷紫乃)

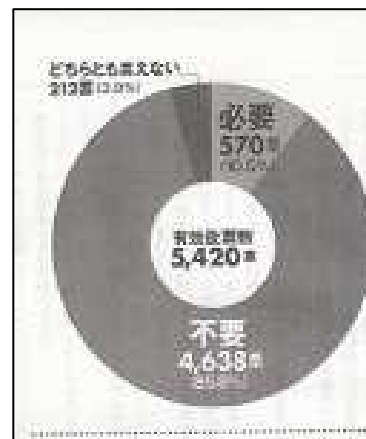
通販生活の**国民投票結果**が出ました！！

「解釈改憲による集団的自衛権の行使容認に賛成ですか？反対ですか？」について、第57号テアトル9ニュースで投票の呼びかけをさせていただきましたが、その結果が出ました。

有効投票総数5422人でした。（ハガキ3027票、ネット2393票）

詳しい内容は是非、通販生活秋冬号をご覧ください。

（書店で購入可、又はネット（<http://www.cataloghouse.co.jp/>）でも見るすることができます。）

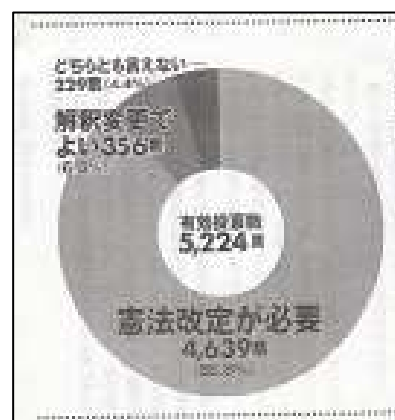


問1 そもそも集団的自衛権の行使は、必要ですか？

テアトル9恒例 新年会のお知らせ

2015年は阪神淡路大震災から20年
メモリアルデーをみんなで語り合ってください！

日時 1月17日(土)12時～16時(予定)
場所 サンパル7階会議室
会費 1,000円
※ 飲み物、食べ物差し入れ大歓迎



問2 集団的自衛権の是非を決める手続きは？

来年こそ、憲法9条にノーベル平和賞！

今年のノーベル平和賞はマララさんとカイラシュ・サテアルティの二人でした。

私たちを取り組んだ「憲法9条を守ってきた日本国民にノーベル平和賞を」の署名活動は、全国で44万2443人に達しました。伝えられているところによると、ノミネートされたノーベル平和賞では、トップクラスに位置していたと。

昨今、表現の自由や文化の面でも平和や民主主義を脅かす動きが強まっています。来年こそ、「憲法9条にノーベル平和賞！」の署名活動を、100万人目標に取り組み、日本国民がノーベル平和賞を受賞しましょう。

(ちかまつ 米田哲夫)

講演会に参加して・・・

11月23日、松浦昭さん（元兵庫大学教授）を招いて講演会を開いた。参加者は16人。初参加の人や親子（高校生）での参加もあり雰囲気良く開会した。日本史が得意らしい高校生の興味を示して話を聞いている姿はまぶしかった。

講演は『鉄砲を捨てた日本人—日本史に学ぶ軍縮』（ノエル・ペリン著）他、二作品を基本にしていた。講師の柔らかい語り方と参加者を優しく見つめる視線に、ついつい引き込まれた。江戸時代に軍縮が実行されたのは、鎖国で日本では鉄砲が不要になった。その火薬は花火になり、鉄は生活用品やその他に変わった。

人間の知恵の使い方一つで、面白い発想が生まれる。感心をするほかない。現代にも通じる楽しい講演会でした。（エバレット・小谷博子）



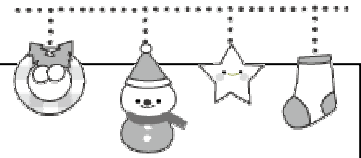
「疎開した40万冊の図書」

金高謙二 著

第二次世界大戦末期、旧都立日比谷図書館を中心に、大八車や、リュックに背負って貴重な本を疎開させた人々の記録。図書館が初めて日本に創られた経緯から、役割等も書かれ、改めて図書館の存在を考えさせてくれる。金高氏は、監督としてドキュメンタリー映画も作成。機会があれば上映会を考えてはどうでしょうか。

出版社：幻戯書房 2520円

新人弁護士のつぶやき vol.7



皆さま、こんにちは。このところご無沙汰しておりましたが、決して冬眠していたわけではありません！！以下のような活動に励んでおりました。

皆さま、今の日本の政治をどう見ておられますか？私や仲間の若手弁護士は今の日本は我々が日本国憲法にとって大変危機的な状況であると思っています。私達がぼーっとしている間に、着々と人権は制約され、戦争体制が整えられようとしています。しかも、私達主権者への必要十分な説明は一切ありません。これはまずい！と若手弁護士もしびれを切らせて立ち上がり、現在「明日の自由を守る若手弁護士の会（通称「あすわか」）」として全国規模で精力的に活動をしています。私は、昨年設立した「あすわか」兵庫支部にて活動していますが、兵庫支部の活動の中に、寸劇をツールにした啓蒙活動があります。演劇に関しては素人である若手弁護士達が、立憲主義や戦争体制を作るまでの権力者の企みなどをテーマにした寸劇を上演することにより、憲法に関する問題をわかりやすく伝えようという試みです。（第1作は「憲法ができるまで」という立憲主義がテーマのお話。第2作は「せんそうがおきるまで」という戦争体制が出来上がる過程を描いたお話です。）これまでに神戸、明石、姫路、京都などで計7回の公演を重ねてきました。まだまだ素人っぽさは残りますが、皆全力で演じています。是非とも、公演依頼をお待ちしております！！（ボリジ 坂本知可）

11月24日投票の沖縄知事選挙で、オール沖縄で立候補した、翁長雄志さんが当選！！

3月沖縄旅行に行ったメンバーで急遽応援カンパを集め送りました。

その沖縄旅行のガイドをしてくれた、鷹江さんが選挙応援に行かれ、その時の感想を寄せていただきました。



沖縄県知事選の応援に行ってきた！

多くの人から、「頑張ってきてよ！」と激励やカンパに後押しされ、気持ちが10倍・100倍に高ぶって嬉しかったです。ありがとうございます！！

現地に行くと、神戸ではわからない、微妙な地元の人々の声が聞けて、[相手の気持ち・立場になる]事の難しさを感じました！今回は、「基地は要らない！」と沖縄県民がひとつになり、政党などの考え方の違う集まりが、「基地は要らない！」のオール沖縄（ウマンチュウの会）を作って、選挙を戦いました。

県知事選・那覇市長選・県議補選・市議補選の4つの選挙が同時に行われました。沖縄県民の「基地は要らない！」声で、基地反対の県知事が誕生しましたが、今後の政府や米国との対応でどうなるか気がかりです。やはり、国民・県民の《声・考え方》が政治に反映されないと、世の中が良くなれないと思いました！（鷹江精一）

例会場「テアトル9コーナー」にお立ち寄りください！

テアトル9グッズのプラバン、また賛同者の方にはニュースをご用意しています。カンパも大歓迎！ご連絡は下記まで

児玉 090-8209-2391

米田 090-8658-8579

谷中 090-2101-4579

田中 090-8493-3378



14日衆議院選挙の結果は、このニュースが届く頃には出ていると思いますが・・・。2015年も憲法九条をみんなで守っていきましょう？良い年をお迎えください。